



穂 立

第4号

令和4年6月13日発行

<http://toyoura.shibata.ed.jp>

他人は変えられないが、相手との関係を変えれば未来は変わる

～アンパンマンの生き方に学ぶ～

校長 伊藤 真哉

アニメの「それいけ!アンパンマン」シリーズの中に、「アンパンマンとイタイノトンデケダケ」があります。あらすじを紹介します。

子どもたちが集団食中毒で入院し、アンパンマンは、それを治すために、イタイノトンデケダケを探して洞窟にやってきます。しかし、すでに、ばいきんまんが、イタイノトンデケダケを手に入れています。アンパンマンは、イタイノトンデケダケを分けてもおうと、ばいきんまんを追いますが、その途中で、二人とも川に流されてしまいます。ばいきんまんは、おぼれそうになり、イタイノトンデケダケは、ばいきんまんと別の方向へ流れていきます。前方には滝が迫ってきます。どちらを追うか悩んだアンパンマンは、ばいきんまんを助けるほうを選びました。

ばいきんまんを川から引き上げると、アンパンマンは力尽きてしまいます。その姿を見て、ばいきんまんは、こうつぶやきます。「俺様を助けるなんて、余計なことをしやがって。」その後、ばいきんまんは、洞窟に戻り、残ったイタイノトンデケダケを必死に探し出しました。何とかイタイノトンデケダケを見つけたばいきんまんは、こっそりアンパンマンのもとに置いていきました。

アンパンマンは、ばいきんまんの言動にいつも困っています。しかし、この物語では、アンパンマンは、自らを犠牲にしながらばいきんまんを助けます。そこには、「悪口は悪口で返す」「やられたらやりかえす」という負のスパイラルの感情を乗り越え、相手に対して温かい寛容の心をもったアンパンマンの姿があります。ばいきんまんは、アンパンマンの態度に心を動かされ、いつもは決してとらないであろう行動を、自分の意志で選択しました。



この物語はフィクションですが、「他人を(直接)変えることはできないが、相手との人間関係を変えることで、相手の心が変わり、行動が変わり、その結果、未来を変えることができる。」という道筋を示してくれる、私たちの生き方のヒントになる考え方だと思います。

誰にでも、気が合わず、相性が悪いと感じる人がいます。アンパンマンの物語を参考に、まず自分が変わり、温かい寛容の気持ちをもって、相手との関係性を変えてみてはどうでしょうか。これまでの負のスパイラルがたちきれ、きっと、幸せな未来への可能性が広がると思います。

生徒総会 5月24日（火）

第1回生徒総会を行いました。新型コロナウイルスの感染防止の観点から、放送での実施となりましたが、活発な意見交換が行われ、有意義な生徒総会になりました。生徒会活動で大切なことは、全校生徒のみなさんが、自分たちでよりよい学校をつくろうという気持ちを高め、それを実行することです。今日の生徒総会を契機に、一人一人が豊浦中学校をよりよい学校にするために、自分ができることを考え、行動に移してくれることを期待します。



2年キャリア講演会② 5月24日（火）

にいがた文化の記憶館から講師をお招きし、新発田にゆかりの文化人の業績をたどりながら、社会的貢献や郷土についての学びを深めました。途中のワークショップでは、話を聞くだけでなく、「にいがた偉人カルタ」で紹介している3人の新発田の偉人の読み札を筆ペンで一人1文字ずつ書くという共同制作作業を行いました。生徒は、地域の発展に寄与する先哲に生き方に触れ、ふるさと「しばた」や「豊浦」と関わりながら歩む人生や生き方について考える貴重な機会になりました。



1年生CAP 5月24日（火）、6月2日（木）

1年生を対象に、CAP にいがたの講師をお招きして、「CAP プログラム」というワークショップを行いました。このプログラムは、子どもたちの自尊感情を高め、あらゆる暴力に対して、心と体と知恵をもって自分を守る力を身につけていく「人権教育プログラム」です。生徒は、寸劇を演じてみながら、みんなに「安心」「自信」「自由」の権利があることや、これらの権利が奪われそうになったときに、自分の身を守る方法として、自分の意思を表明すること、その場を離れること、相談すること等があることを体験的に学ぶことができました。



2年生キャリア講演会③ 5月27日（木）

キャリア学習の一貫として、フリーアナウンサーの東村里恵子様を講師にお迎えして、ご講演をいただきました。東村様がアナウンサーを目指し、夢を叶えるまでの過程や、社会に出て、様々な他者と良好な人間関係を築くために必要なコミュニケーションの方法やマナーなどについて具体的に教えていただきました。東村様からお話をお聴きしたことは、生徒のこれからの生き方を考えるととても有意義な機会になりました。



第1回避難訓練 5月31日（火）

今年度最初の避難訓練を行いました。地震の後に、火災が発生したという想定で行いました。突然の災害に直面すると、誰もが平常心ではいられなくなります。そんな時にも、思考や身体が自然と反応し、身を守るための適切な行動がとれるようにすることが、訓練の大きな目的です。災害時は、訓練で100%近くできていたことが、70%くらいしかできないとも言われています。今日の訓練は、90%以上の評価をつけることができるいい避難訓練でしたが、次の避難訓練では、100%の達成率に近づこうと一層真剣に取り組みましょう。



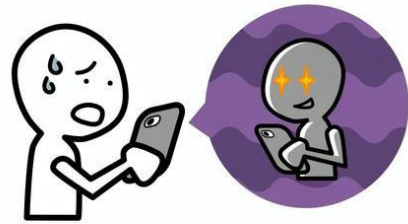
「ロックの日」啓発活動 6月9日（木）

当校の生徒会役員の生徒が、新発田警察署と新発田市役所の協力を得て、自転車登校をする生徒に、施錠の徹底と自転車の二重ロックを呼びかけながら、チラシやワイヤーロックを配付するという啓発活動を行いました。新発田市内でも自転車の盗難が後を絶ちません。しかし、盗難被害は、万が一に備えることで防ぐことができます。今日の活動を契機に、鍵掛けや防犯へ意識が高まることを期待します。なお、今日の啓発活動の様子は、後日、新潟日報の下越版で紹介される予定です。ぜひご覧ください。



ネットトラブルの現状

今は、どこにいてもインターネットに接続し、情報を収集したり、遠くの人とコミュニケーションをとったりすることができる便利な世の中になっています。その反面、個人情報の流出やネット上の誹謗中傷などの様々なトラブルが発生しています。



ほとんどの中学生がスマホやゲーム機を所持している今、県内及び市内でも次のようなネットトラブルが起きています。

- ネット上に、他人の名前等の個人情報を勝手に掲載する。
- ネット上に、他人の悪口や不適切な画像を掲載する。

そして、ネットトラブルに関わった中学生はこのような考えていました。

- 悪口を書き込んでも、ネット上だからばれることはない。
- 自分たちの知り合いしか見ていない。
- ラインだから、この情報や写真は誰にも見られない。

豊浦中学校でも、ネットトラブルについては重ねて指導をしていますが、ご家庭の協力が不可欠です。具体的には、以下の2点です。

- ①保護者が、子どもたちのスマホに対して、機能や使用状況に関心をもつこと。
- ②保護者が、子どもたちをトラブルから守る防止策を実行すること。

ネットトラブルの防止策としては、「フィルタリング」が最も有効だと言われています。是非、各家庭で確認されて、お子さんがネットトラブルに巻き込まれない、起こさないよう、ご協力をお願いします。

今後の予定

6月	15日(水)	下越陸上①	7月	11日(月)	個別面談①
	16日(木)	下越陸上②		12日(火)	個別面談②
	22日(水)	専門委員会		13日(水)	個別面談③
	24日(金)	下越総体②		14日(木)	個別面談④
	25日(土)	下越総体③		16日(土)	県総体①
	27日(月)	生徒朝会		17日(日)	県総体②
7月	1日(金)	通信陸上①		18日(月)	(海の日) 県総体③
7月	2日(土)	通信陸上②		23日(土)	or 24日(日) 下越吹奏楽コンクール
7月	4日(月)	全校朝会(報告会)		25日(月)	体育祭結団式
7月	7日(木)	教育鑑賞事業		29日(金)	1学期終業式

